

目標達成計画

作成日: 平成24年 1月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	標達成に向けた具体的な取り組み内	目標達成に要する期間
1	4	家族の参加が得られるよう、日程・時間の設定、又、参加出来る様な内容の工夫をされていくとよいでしょう。	今年度同様に今後も定期的な開催に努めながら家族の参加が得られるようにする。	小規模多機能とグループホーム利用者の家族に交互に担当して頂き参加が得られるようにします。	3ヶ月
2	26	利用者の生活歴、思いや意向等の共有ができるようなアセスメントを作成されると、より「その人らしさ」が共有でき、より良い介護計画につなげられると思います。	利用者の状態像について振り返りができるしくみを作る。	新たにその方の全体像が把握できるようなシートの作成を試みます。	6ヶ月
3	33	終末期に向けた支援をチームで行っていくためには、継続的な研修は必要かと思われます。その中で、事業所としてできる範囲を職員間で共有するための指針づくりが期待されます。	看取りについての方針を職員一人一人が把握している。	看取りの指針をグループホーム職員で見直しをします。	12ヶ月
4	35	災害時の協力は得られているが、実際の訓練への参加協力もして頂けるよう努力して頂きたい。また地域から協力を頂くだけでなく、相互に助け合える協力関係の具体的な構築が期待されます。	火災・災害時の避難等協力体制を地域と共に取り組む。	火災、災害時の緊急連絡網に地域の方や、消防分団などをいれて取り組みます。	6ヶ月
5					ヶ月